

# 明るい恵那

2017年9月24日  
第1694号  
日本共産党  
恵那協議会  
恵那市大井町735  
電話 26-3603

衆院岐阜県5区

## おぜき祥子さん 市内各地で訴え

### 特に県外自家用車があったかい反応多数

安倍首相の国会冒頭解散をほのめかしたニュースが飛び交う18日、日本共産党東濃西地区委員長で元土岐市市議7期務めた、岐阜5区小関祥子さんは午前中は恵南 明智、山岡、岩村で遠山信子恵那市議や支部の皆さんと、午後は水野功教恵那市議と美術館前をスタートに長島町、大井町で街頭から訴えました。

おぜきさんは、今回の解散が安倍氏の森友、加計そして自衛隊日報問題などの疑惑隠しが狙いであること、国民の世論に追い込まれた解散であることとともに、安倍さんの憲法改正は許せないという東濃地域の市民の皆さんと共闘して、今度の選挙を精一杯頑張る、と決意を述べていました。

タイミングもあつてか、市街地ではいつにも増して反応も多く通過車両の運転席、助手席からも大きなジェスチャーで激励されていました。連休最後の日と言うことから名古屋や三重など県外ナンバーが多く、特に県外車の反応が目立っていました。



長島町中野のホームセンター前で力強く訴えるおぜきさん

## 学校運動会、台風18号に悲喜こもこも

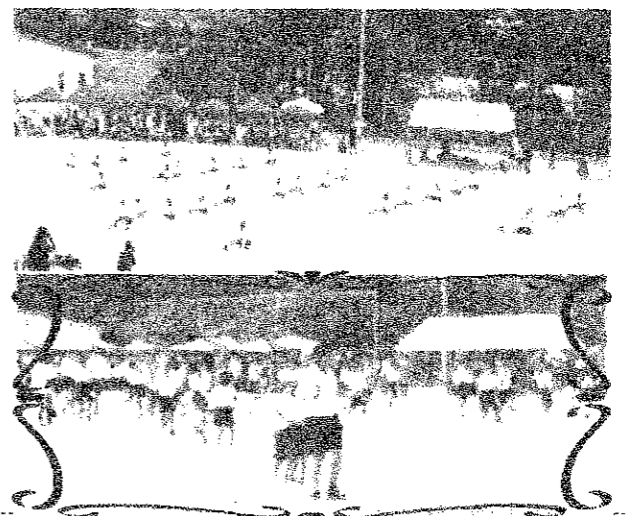
9月は行事が多く、

先週は小中学校では運動会、今週は美濃路のみどり祭りなど、各地で計画されています。

16・17・18日に超大型台風が直撃するという予報から、学校ではその対応に疲労困憊のようでした。

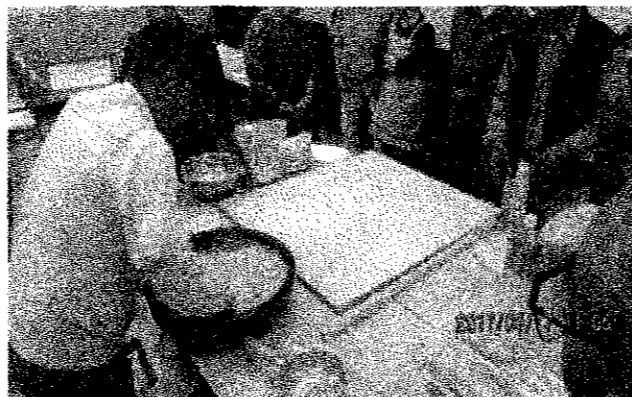
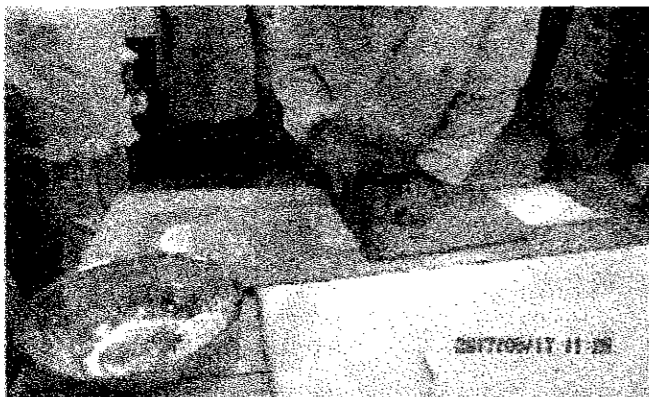
16日に予定されていた運動会を雨の中でも都合で延期もできず強行された学校、思い切つて18日に延ばした学校もあります。

18日に延期した恵那北小学校では秋晴れのもと、100人を切りますが、みな元気に、おはこの「北小ヨッチョレ」を踊って、観覧者に温かいものを届けてくれました。いずれにしても天気・自然に対しては「畏敬の念」で接しなければと思われる3日間だったようです。



## そば祭り 地域のつながりが田舎の素晴らしさ発揮

9月17日、長島町久須見の山中公民館で「そば祭り」が開かれました。「中山間地直接支払・山中集落」の取り組みですが、集落のこどもからお年寄りまで集まり、前日だけでなくそれ以前からの準備に地域全体が参加して取り組んでいます。この関わりの中で地域力がまた強くなっているようです。この日は中津川市阿木のソバ打ちのプロがそば粉から切るところまで実演されていました。久須見区執行部や農協など関係者、他の集落の方も招待されており「うちでもやりたいなあ」の声もありました。



# 第一 恵那市議会 決算審査特別委員会

投稿 市議 水野 功教

いま開かれている9月議会は、昨年度の決算を認定する、3月の予算委員会に次いで気の抜けない議員にとって重要な議会と書われています。

9月14日と15日に開かれた委員会では、今恵那市が直面している課題である新生児減少問題に関係する事案中心に質問しました。

市民の要求に応えた回答もありましたのでいくつご紹介いたします。

## 認定こども園導入して3年目

### いまだどうなのか、アンケートを予定

「昨年4月、強引に導入した幼保連携型認定こども園について、アフターホロ、PDCA(管理のサイクル)PDCAチェックはどうなっているのか」と聞いたところ、鈴木幼児教育課長は「今年度後半に、保護者と保育士両方からアンケートとる」と答弁されました。「やっ」との感もありますが、どういふ視点で設問されるかが問題だ、と言う意見や、「アンケートだけじゃなく第三者もふくめた議論を期待します」との市民の声も届いています。

**質問** 認定こども園を強行してすでに3年目、大きな事業である。約束どうりできているのか、親たちの意見は聞いているのか。

**回答** 今年度後半に、保護者向け、保育士向けにアンケートを実施する。(幼児教育課長)

## 新長島こども園

### 警報時の引き渡しシミュレーションは

**質問** 最近、異常気象で洪水被害が多い。永田川沿いに計画している240人もこのこども園。警報時の「引き渡し」について、シミュレーションしているか。

**回答** 車での迎えは165台を想定し、園の脇の25台分の駐車場で順に引き渡す。一旦、長島学童保育の場所に待機してもらおう。

(後日確認したところ、すべてが終わるには、3時間を擁するようですが、これでは不安はぬぐえません。)

「恵那市行政組織規則」によれば危機管理課は「防災対策の企画調整に関する」と規定されているが、危機管理課はこの計画には関与しているか」と訊くと、危機管理課長は回答せず、大塩副市長が「市の業務は縦割りとなっており教育委員会が危機管理してもらおう。危機管理課は求められれば

「ひまわり」は指定管理になっても「地域のための施設」

### 継続して地域の实情に配慮を

明智の老健施設「ひまわり」は来年度から恵那病院と同じ「地域医療振興協会」が指定管理者になります。ここは特養と違って、治療・加療によって介護度が改善すると、退園しなければならぬわけですが、独居や高齢者夫婦の場合、帰るに帰れない実態があります。これまではそれなりに配慮がなされてきましたが、「指定管理になった場合にはどうなのか」と言う声があります。

この問題について訊いたところ、事務長は「課題であることは承知している。指定管理者にはこの实情に配慮した対応を求めていく」と回答しました。

管理は委託しますが、公立の施設で地域の高齢者の拠りどころであることは変わりません。よろしく願います。

## 市直営のこども園の非正規職員、47%

**質問** 直営のこども園と指定管理のこども園の保育士の非正規率はどうか。

**回答** 直営は47%、指定管理の城ヶ丘こども園は20%、長島こども園は25%、岩村こども園は5%で、指定管理は低い。

直営では半数近くが非正規に改めて驚愕します。職員削減にまい進してきたこれまでの市政、この上、大型の新おさしまこども園を指定管理に置き換えようとするのは、保育専門職員の気概にも影響するのではないかと危惧されます。

大井第二小体育館でリニア問題学習会

## 買収、区分地上権など弁護士に聞く ～地域住民の権利を守る道筋は～

11月11日(土) 午後1時半から

会場 大井町 大井第二小学校体育館

リニア中央新幹線の計画は恵那市では、住民合意も得られず、未だ中心線の測量も始まっていない地域もあります。いま、JR東海は住民の不安に十分こたえようとしないうちに、用地交渉に入ろうとしています。

名古屋駅前でリニア地下駅計画にも携わっている樽井直樹弁護士から区分地上権や土地収用について伺います。

なお、当日は法律相談も開設される予定です。

(主催 リニア問題を考える恵那市民の会)

特別委員

- 長 橋本平紀
- 副 町野道明
- 柘植孝彦
- 後藤康司
- 堀 光明
- 水野功教
- 柘植 晃